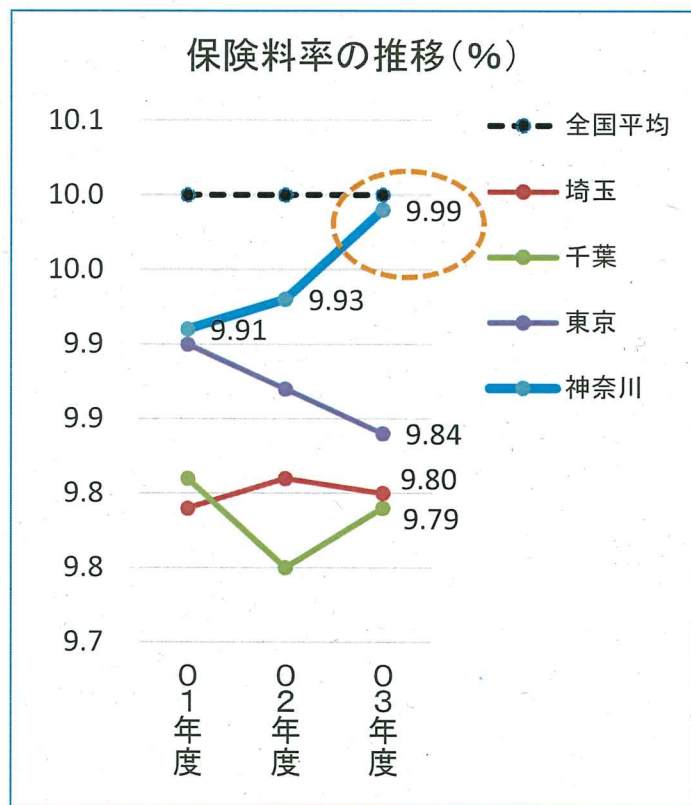


神奈川支部医療費分析 (分析と分析を踏まえた取り組みについて)

I. 分析の目的等

分析の目的

この分析は、都道府県単位保険料率のベースとなる「加入者1人当たり医療費」を分析し、分析を踏まえた医療費適正化の取り組みを策定・推進することを目的とする。



2年度前の医療費が保険料率に反映される※
(令和3年度の保険料率は令和1年度の医療費がベースとなっている)

※保険料率の算出にあたっては、所得調整・年齢調整などがおこなわれる



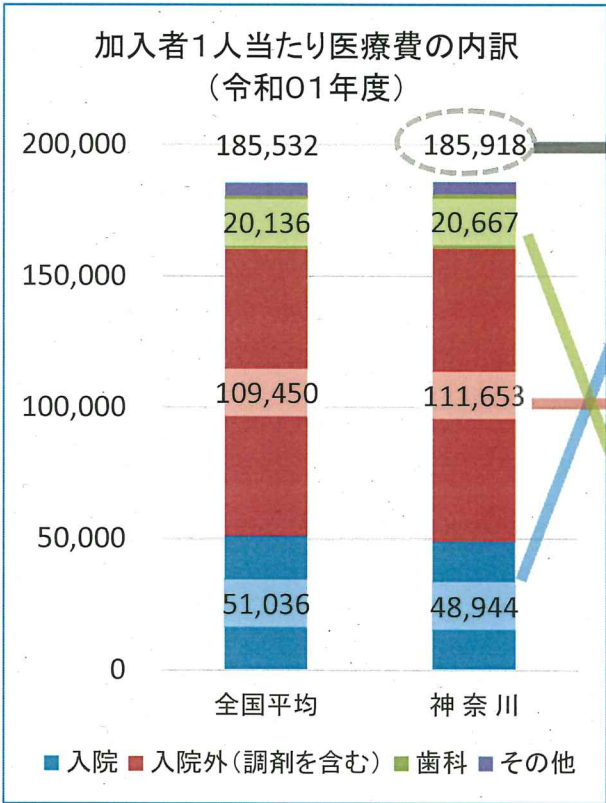
神奈川支部の加入者一人当たり医療費は首都圏他支部と比べて高く、全国平均を上回る(令和01年度の差は+386円)。

(出所)「協会けんぽの都道府県支部別医療費等の状況(令和元年度)」

I. 分析の目的等

本分析の構成

この分析では、神奈川支部の「加入者1人当たり医療費」について「入院」・「入院外」・「歯科」別の分析等をおこない、医療費適正化に向けた課題を明確にしていく。



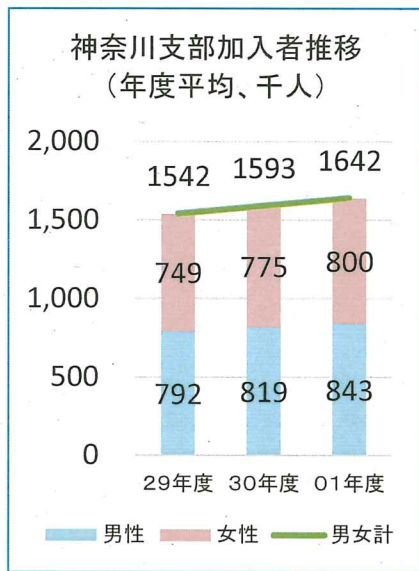
(出所)「協会けんぽの都道府県支部別医療費等の状況(令和元年度)」

- 加入者の状況(性別・年齢階級)の分析 3頁
- 加入者1人当たり医療費の俯瞰 4頁
- 加入者1人当たり入院医療費の分析 5~10頁
男女別の入院医療費、男性の入院医療費の3要素分解、
疾病分類別入院医療費 など
- 加入者1人当たり入院外医療費の分析 11~17頁
男女別の入院外医療費、女性の入院外医療費の3要素分解、
疾病分類別入院医療費 など
- 加入者1人当たり歯科医療費の分析 18頁
歯科医療費の3要素分解 など
- 各種リスク保有率等と医療費の分析 19~20頁
- ◎ 分析を踏まえた取り組み 21~26頁

II. 神奈川支部医療費分析(加入者の状況)

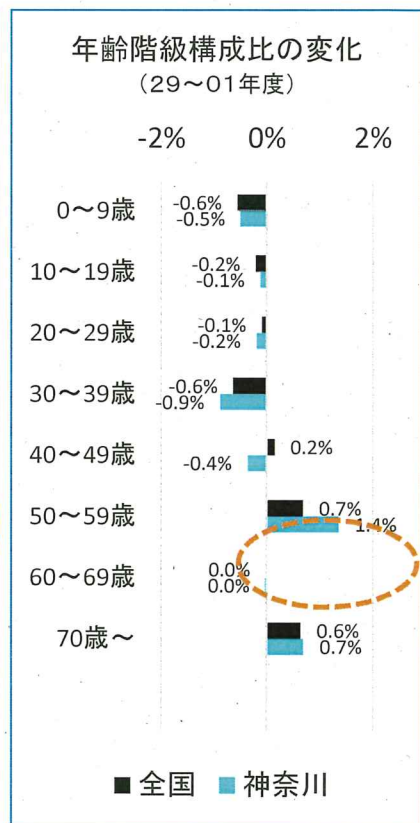
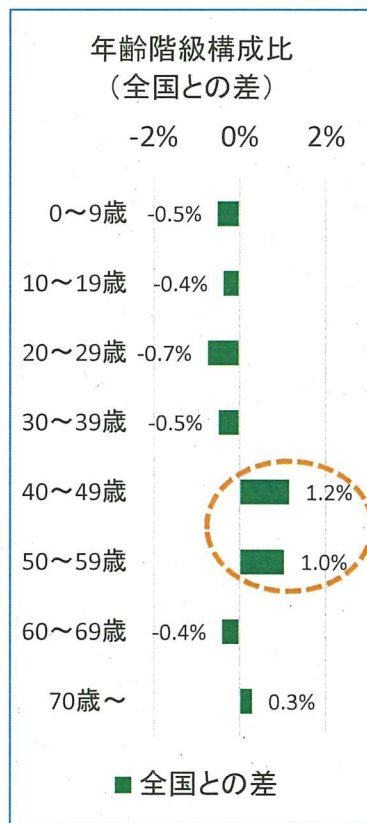
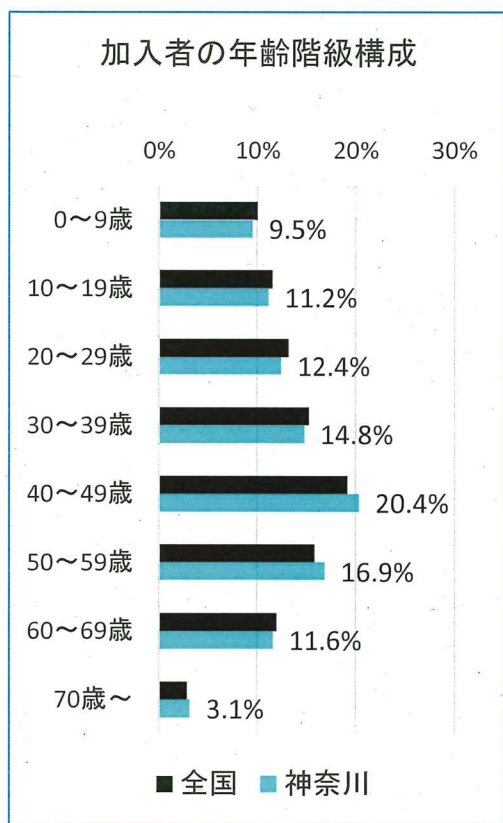
加入者の状況(男女別・年齢階級)(01年度)

神奈川支部加入者は164万人。性別では男性がやや多い。年齢階級別では40～50歳代の割合が全国平均を上回る。50歳代の割合の上昇は全国平均を上回る。



加入者の男女比(%)

	男性	女性
全国	49.7	50.3
神奈川	51.3	48.7

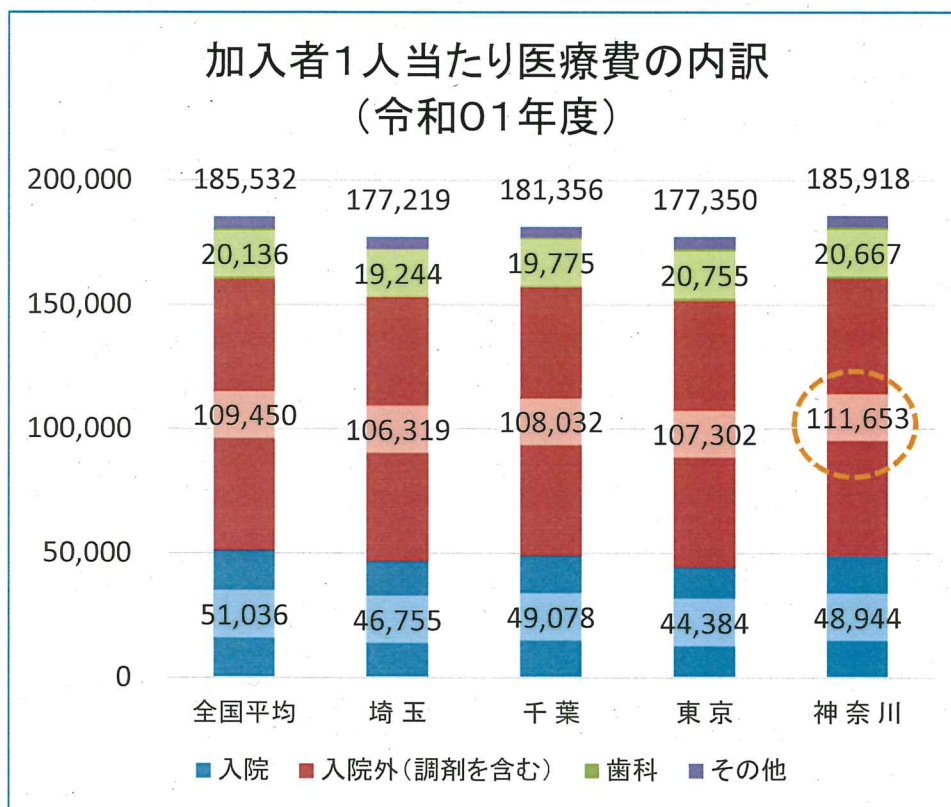


(出所)「加入者基本情報」

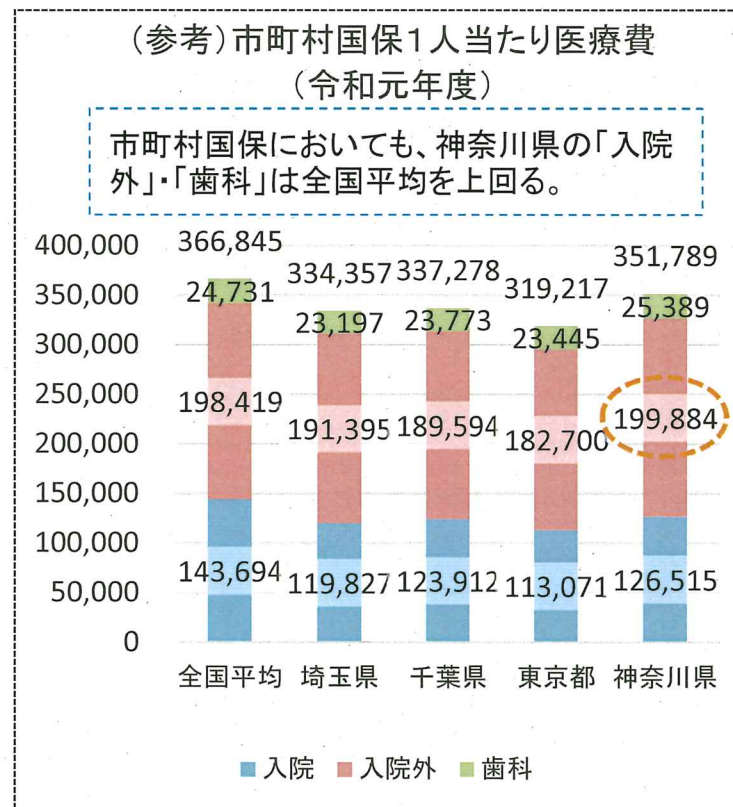
Ⅱ. 神奈川支部医療費分析(加入者1人当たり医療費の概観)

加入者1人当たり医療費の俯瞰(01年度)

神奈川支部の加入者1人当たり医療費は全国平均を386円上回る。内訳では、「入院外」・「歯科」が全国平均を上回る(「入院外」は、全国平均を2,203円も上回る)。



(出所)「協会けんぽの都道府県支部別医療費等の状況(令和元年度)」

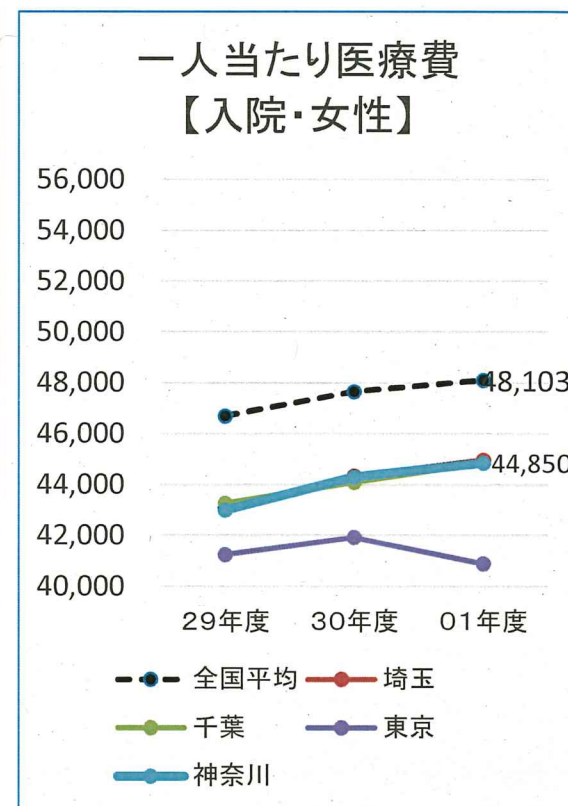
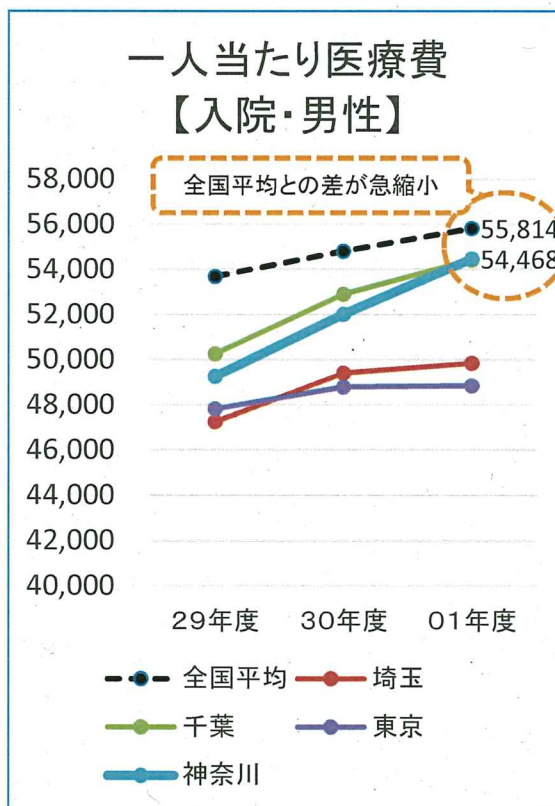
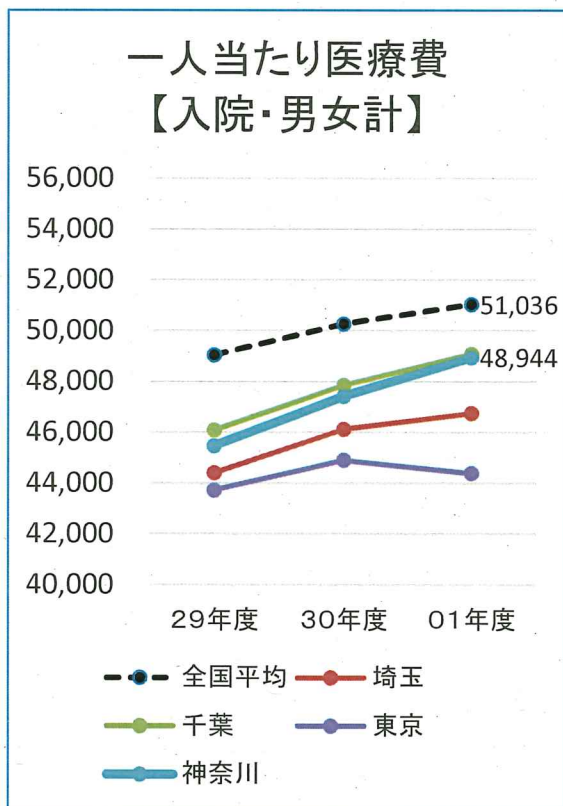


(出所)「医療費の地域差分析(令和元年度)」(厚生労働省保険局調査課)

Ⅱ. (1) 神奈川支部の入院医療費(その1～性別)

入院医療費(男女別)(29～01年度)

神奈川支部の入院医療費を性別に見ると、男性は1,346円、女性は3,253円全国平均を下回っている。ただし、男性は全国平均との差(優位性)が急速に縮小。

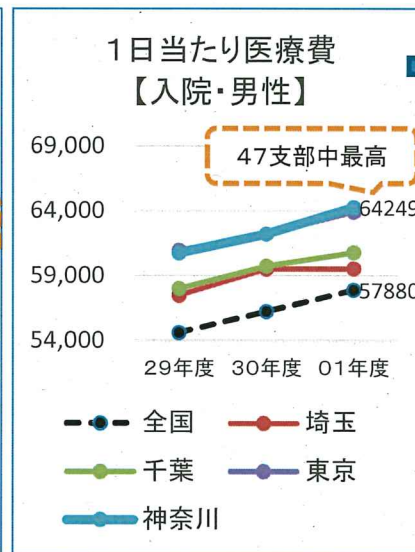
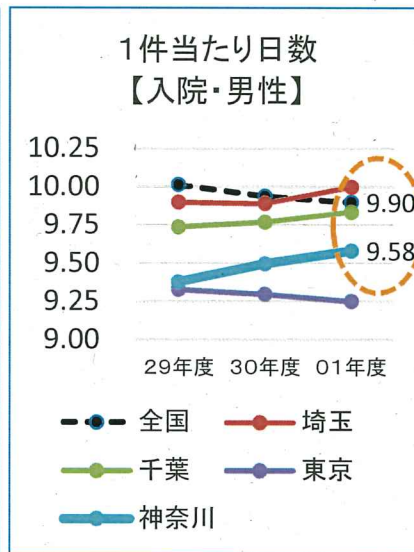
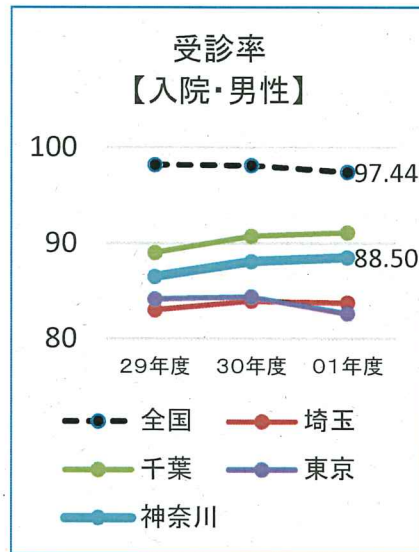


(出所)「医療費分析用データ(令和元年度)」-「①レセプトデータ(傷病名有り)」の「性・年齢階級別」シート

Ⅱ. (1) 神奈川支部の入院医療費(その1～男女別)

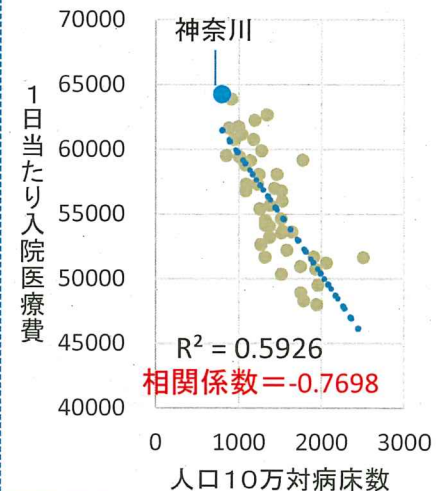
入院医療費の3要素分解(男性)(29～01年度)

神奈川支部の男性加入者の入院「1件当たり日数」は、この2年で全国平均に急接近。男性の入院医療費の全国平均との差が縮小した主な要因となっている。



＜参考＞1日当たり入院医療費と病床数の相関関係

- ◆「1日当たり入院医療費」と「人口10万対病床数」の間には強い負の相関関係が認められる。
- ◆神奈川県は人口10万対病床数は全国最少。神奈川支部の「1日当たり入院医療費【男性】」は47支部中最高。



(注) 医療費の3要素分解について

1人当たり医療費 = 受診率医療費 × 1件当たり日数 × 1日当たり医療費

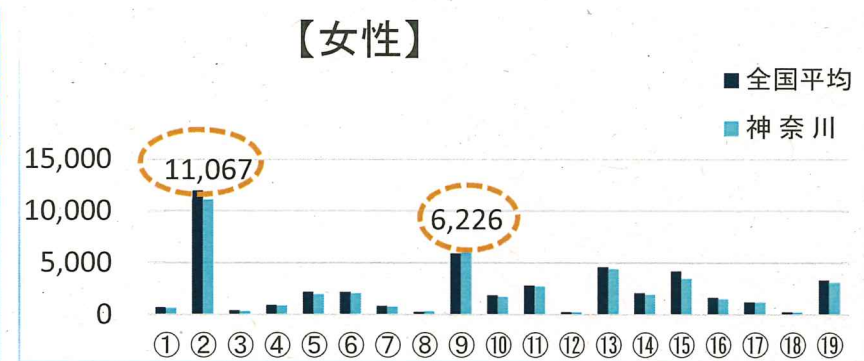
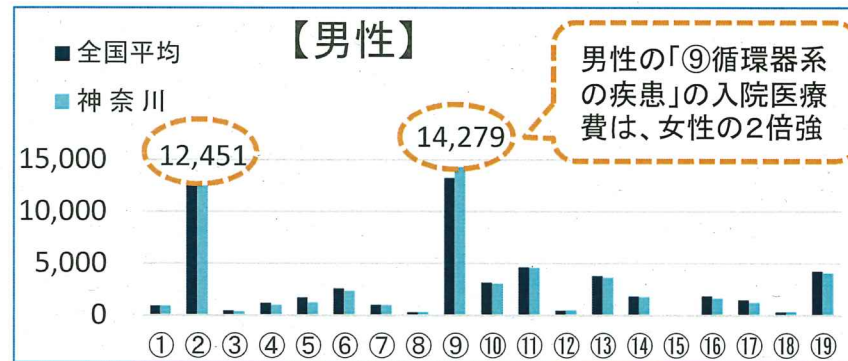
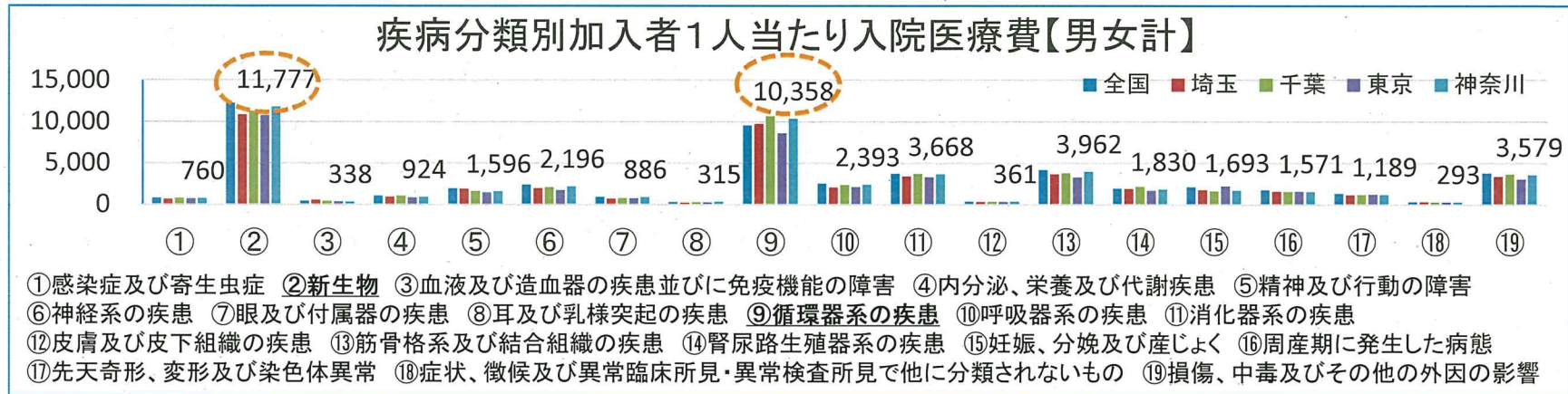
$$\frac{\text{医療費}}{\text{加入者数}} = \frac{\text{レセプト件数}}{\text{加入者数}} \times \frac{\text{診療実日数}}{\text{レセプト件数}} \times \frac{\text{医療費}}{\text{診療実日数}}$$

(出所)「医療費分析用データ(令和元年度)」-「①レセプトデータ(傷病名有り)」の「性・年齢階級別」シート

Ⅱ. (1) 神奈川支部の入院医療費(その2～疾病分類別)

疾病分類別入院医療費(01年度)

神奈川支部の入院医療費を疾病分類別にみると、全国平均と同様に、男女計・男性・女性ともに「②新生物」・「⑨循環器系の疾患」が突出している。



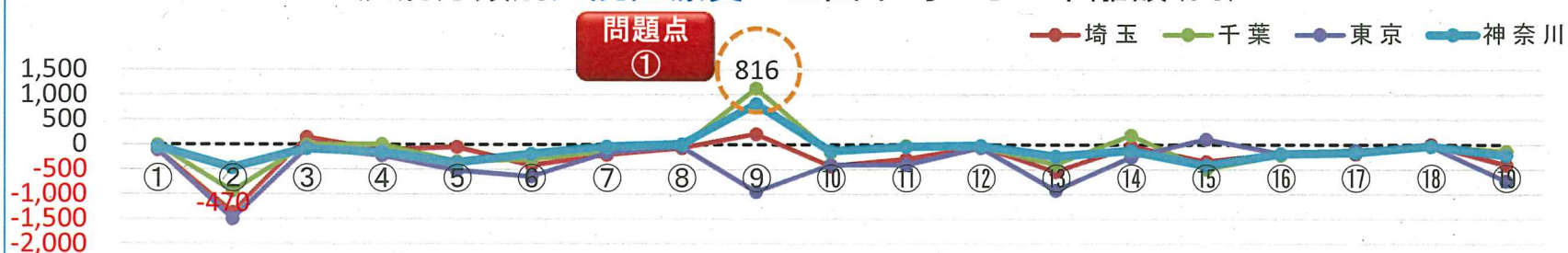
(出所)「医療費基本情報」

Ⅱ. (1) 神奈川支部の入院医療費(その2～疾病分類別)

疾病分類別入院医療費(男女計)(01年度)

神奈川支部の入院医療費(男女計)を疾病分類別に全国平均と比較すると、「⑨循環器系の疾患」(+816円)が高い(「入院外」との合計でも、⑨は全国平均を756円上回る)。

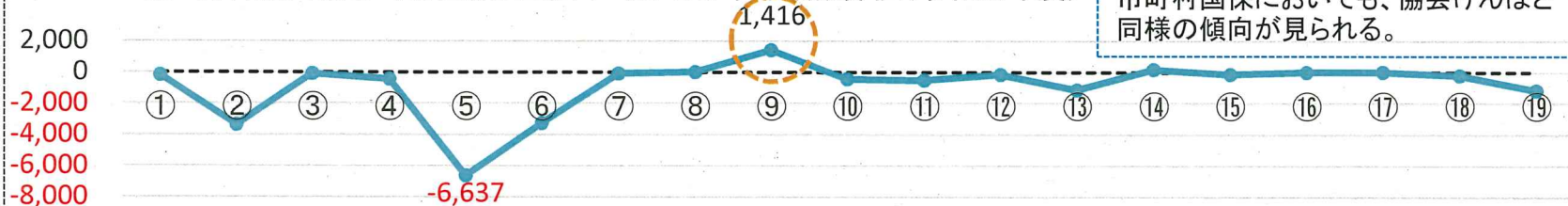
疾病分類別入院医療費の全国平均からの乖離額(円)



- ①感染症及び寄生虫症 ②新生物 ③血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害 ④内分泌、栄養及び代謝疾患 ⑤精神及び行動の障害
 ⑥神経系の疾患 ⑦眼及び付属器の疾患 ⑧耳及び乳様突起の疾患 ⑨循環器系の疾患 ⑩呼吸器系の疾患 ⑪消化器系の疾患
 ⑫皮膚及び皮下組織の疾患 ⑬筋骨格系及び結合組織の疾患 ⑭腎尿路生殖器系の疾患 ⑮妊娠、分娩及び産じょく ⑯周産期に発生した病態
 ⑰先天奇形、変形及び染色体異常 ⑱症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの ⑲損傷、中毒及びその他の外因の影響

(出所)「協会けんぽの都道府県支部別医療費等の状況(令和元年度)」

(参考)神奈川県市町村国保と全国平均からの乖離額概算値(令和元年度)



市町村国保においても、協会けんぽと同様の傾向が見られる。

(出所)「医療費の地域差分析(令和元年度)」(厚生労働省保険局調査課)のデータを加工し概算値を算出

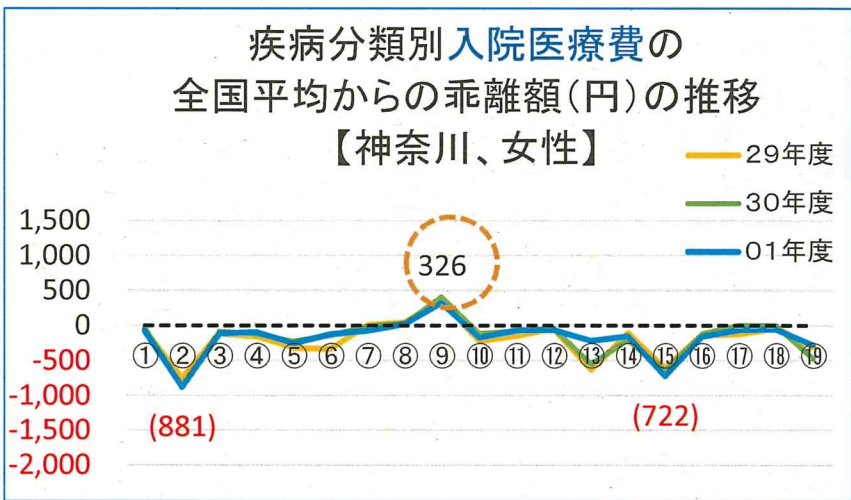
Ⅱ. (1) 神奈川支部の入院医療費(その2～疾病分類別)

疾病分類別入院医療費(男女別)(01年度)

神奈川支部の疾病分類別入院医療費の全国平均からの乖離額の推移をみると、男性の「②新生物」と「⑨循環器系の疾患」の乖離状況の悪化が目立つ。

【男性】「②新生物」と「⑨循環器系の疾患」の全国平均からの乖離状況が、この2年間で大幅に悪化(②は+1,428円、⑨は+612円)。

【女性】全国平均と比較して、「⑨循環器系の疾患」の医療費が比較的高い一方、「②新生物」・「⑮妊娠、分娩及び産じょく」は比較的低い。



- ①感染症及び寄生虫症 ②新生物 ③血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害 ④内分泌、栄養及び代謝疾患 ⑤精神及び行動の障害
⑥神経系の疾患 ⑦眼及び付属器の疾患 ⑧耳及び乳様突起の疾患 ⑨循環器系の疾患 ⑩呼吸器系の疾患 ⑪消化器系の疾患
⑫皮膚及び皮下組織の疾患 ⑬筋骨格系及び結合組織の疾患 ⑭腎尿路生殖器系の疾患 ⑮妊娠、分娩及び産じょく ⑯周産期に発生した病態
⑰先天奇形、変形及び染色体異常 ⑱症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの ⑲損傷、中毒及びその他の外因の影響

(出所)「医療費基本情報」のデータを加工

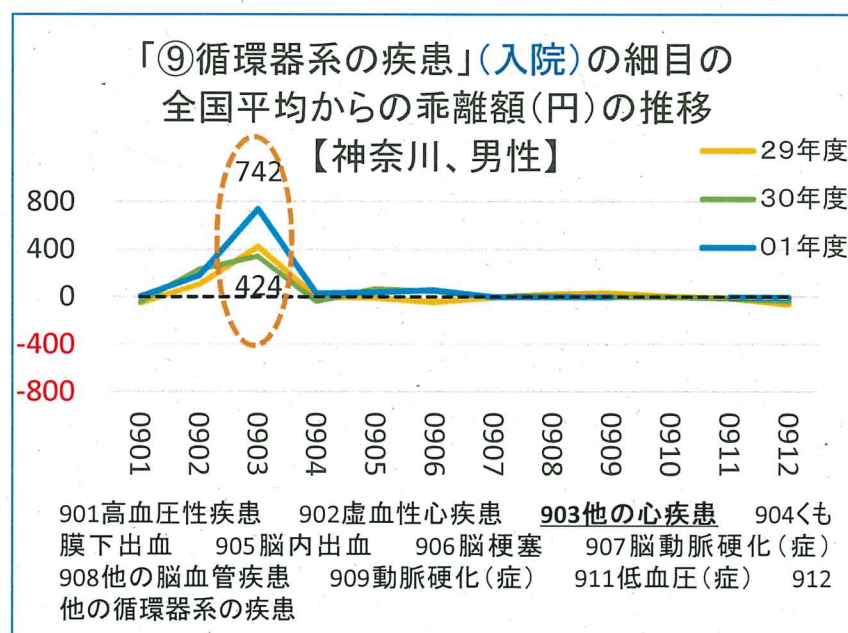
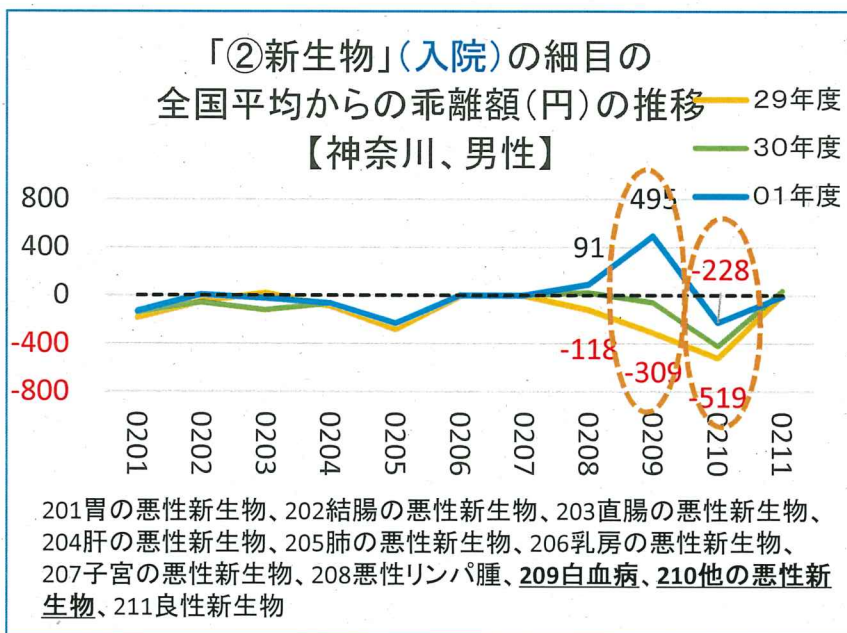
Ⅱ. (1) 神奈川支部の入院医療費(その2～疾病分類別)

疾病分類別入院医療費のブレイクダウン

男性の入院医療費の全国平均からの乖離額推移をブレイクダウンすると、「②新生物」では「白血病」、「⑨循環器系の疾患」では「他の心疾患」の伸びが高い。

【男性】「②新生物」の内訳は、この2年間で「0209白血病」・「0210他の悪性新生物」の全国平均比が大幅に悪化(0209は+804円、0210は+291円)。

【男性】「⑨循環器系の疾患」の内訳は、この2年間で「0903他の心疾患」の全国平均比が大幅に悪化(+318円)。

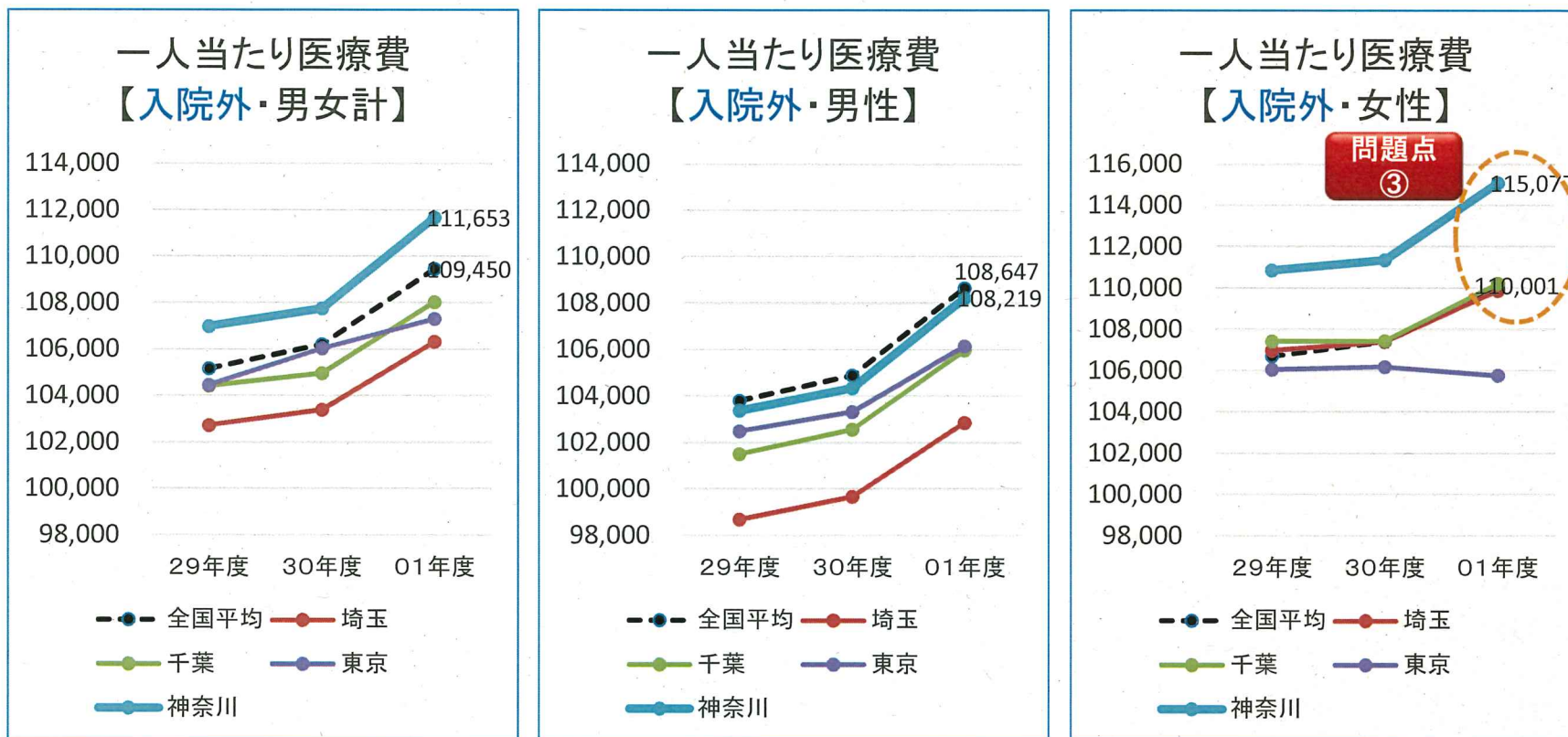


(出所)「医療費基本情報」のデータを加工

II. (2) 神奈川支部の入院外医療費(その1～男女別)

入院外医療費(男女別)(29～01年度)

神奈川支部の入院外医療費を性別に見ると、男性は全国平均とほぼ同水準だが、女性は全国平均を約5%(5,076円)上回っている。

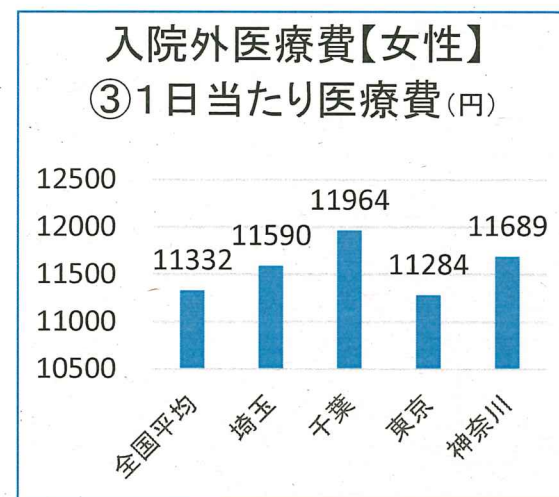
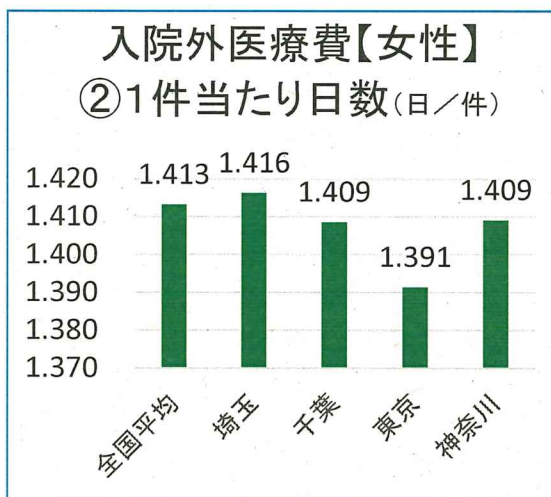


(出所)「医療費分析用データ(令和元年度)」-「①レセプトデータ(傷病名有り)」の「性・年齢階級別」シート

Ⅱ. (2) 神奈川支部の入院外医療費(その1～男女別)

女性の入院外医療費の3要素分解(01年度)

神奈川支部の女性の入院外医療費を3要素分解すると、「受診率」と「1日当たり医療費」が全国平均よりも高い。「受診率」は首都圏4支部の中でもっとも高い。



神奈川支部の女性の入院外医療費の「受診率」は、20歳代以上のすべての年齢階級において全国平均・首都圏他支部を上回っている。 →

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	合計
全国平均	8569.0	4506.4	4877.5	5826.4	6064.3	7743.7	9966.1	12942.0	6869.3
埼玉	8478.2	4490.6	4758.6	5639.7	5857.5	7446.4	9618.4	12437.7	6693.9
千葉	7883.7	4215.8	4543.0	5372.4	5788.6	7399.1	9506.8	11928.9	6540.2
東京	8919.1	4673.8	4827.8	5833.8	6139.6	7678.1	9884.1	12493.6	6737.3
神奈川	8581.9	4368.3	4973.9	5925.0	6234.8	7867.3	10091.4	12987.5	6987.1

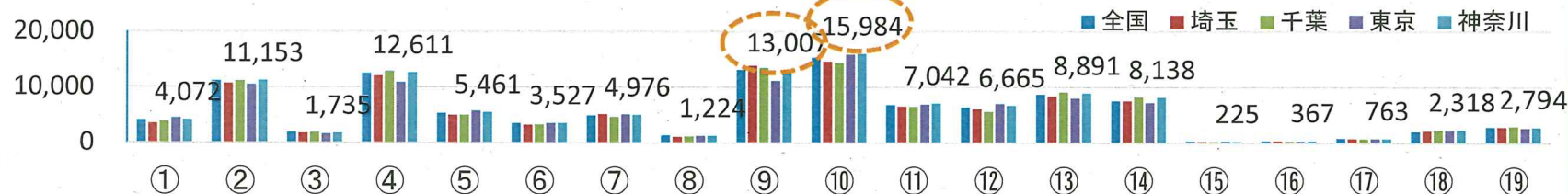
(出所)「医療費分析用データ(令和元年度)」-「①レセプトデータ(傷病名有り)」の「性・年齢階級別」シート

Ⅱ. (2) 神奈川支部の入院外医療費(その2～疾病分類別)

疾病分類別入院外医療費(01年度)

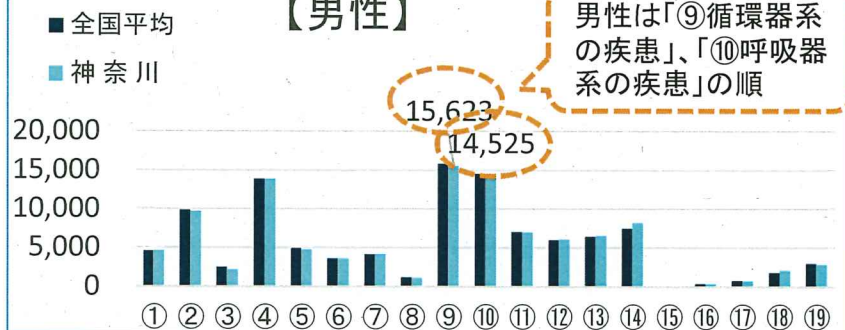
神奈川支部の入院外医療費を疾病分類別にみると、全国平均と同様に、男女計では「⑩呼吸器系の疾患」・「⑨循環器系の疾患」が突出している。

疾病分類別加入者1人当たり入院外医療費【男女計】



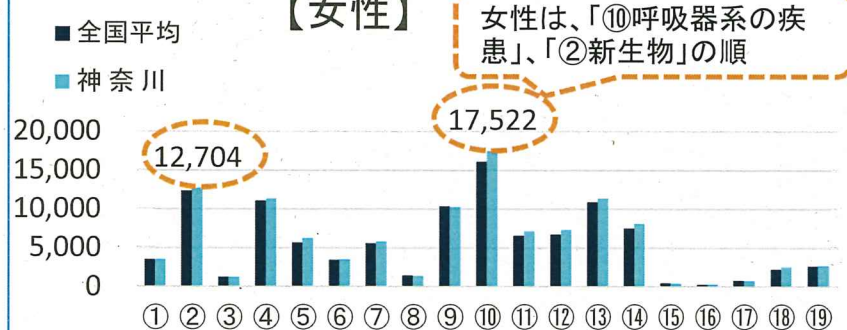
- ①感染症及び寄生虫症 ②新生物 ③血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害 ④内分泌、栄養及び代謝疾患 ⑤精神及び行動の障害
 ⑥神経系の疾患 ⑦眼及び付属器の疾患 ⑧耳及び乳様突起の疾患 ⑨循環器系の疾患 ⑩呼吸器系の疾患 ⑪消化器系の疾患
 ⑫皮膚及び皮下組織の疾患 ⑬筋骨格系及び結合組織の疾患 ⑭腎尿路生殖器系の疾患 ⑮妊娠、分娩及び産じょく ⑯周産期に発生した病態
 ⑰先天奇形、変形及び染色体異常 ⑱症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの ⑲損傷、中毒及びその他の外因の影響

【男性】



男性は「⑨循環器系の疾患」、「⑩呼吸器系の疾患」の順

【女性】



女性は、「⑩呼吸器系の疾患」、「②新生物」の順

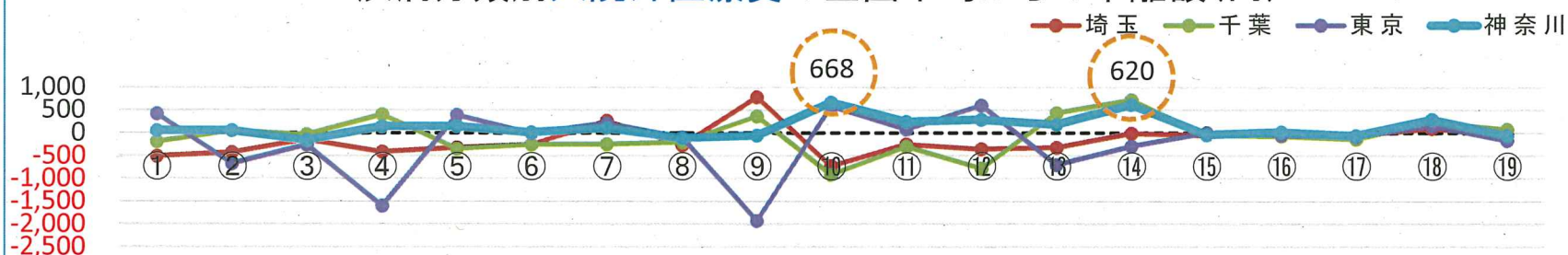
(出所)「医療費基本情報」

Ⅱ. (2) 神奈川支部の入院外医療費(その2～疾病分類別)

疾病分類別入院外医療費(男女計)(01年度)

神奈川支部の入院外医療費(男女計)を疾病分類別に全国平均と比較すると「⑩呼吸器系の疾患」(+668円)と「⑭腎尿路生殖器系の疾患」(+620円)がとくに高い。

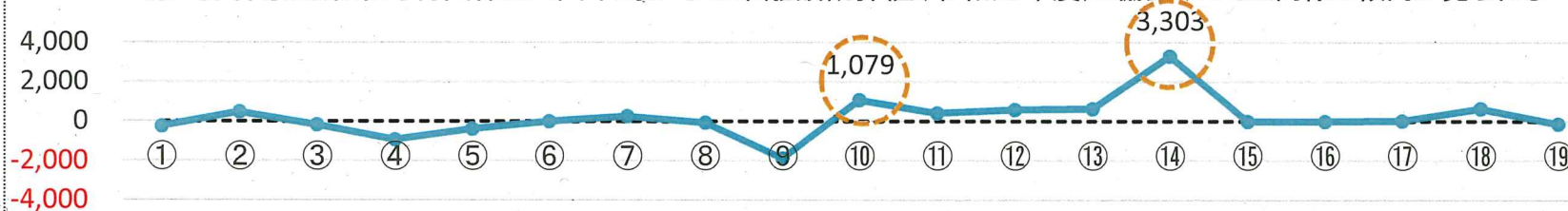
疾病分類別入院外医療費の全国平均からの乖離額(円)



- ①感染症及び寄生虫症 ②新生物 ③血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害 ④内分泌、栄養及び代謝疾患 ⑤精神及び行動の障害
 ⑥神経系の疾患 ⑦眼及び付属器の疾患 ⑧耳及び乳様突起の疾患 ⑨循環器系の疾患 ⑩呼吸器系の疾患 ⑪消化器系の疾患
 ⑫皮膚及び皮下組織の疾患 ⑬筋骨格系及び結合組織の疾患 ⑭腎尿路生殖器系の疾患 ⑮妊娠、分娩及び産じょく ⑯周産期に発生した病態
 ⑰先天奇形、変形及び染色体異常 ⑱症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの ⑲損傷、中毒及びその他の外因の影響

(出所)「協会けんぽの都道府県支部別医療費等の状況(令和元年度)」

(参考)神奈川県市町村国保と全国平均からの乖離額概算値(令和元年度)...協会けんぽと同様の傾向が見られる



(出所)「医療費の地域差分析(令和元年度)」(厚生労働省保険局調査課)のデータを加工し概算値を算出

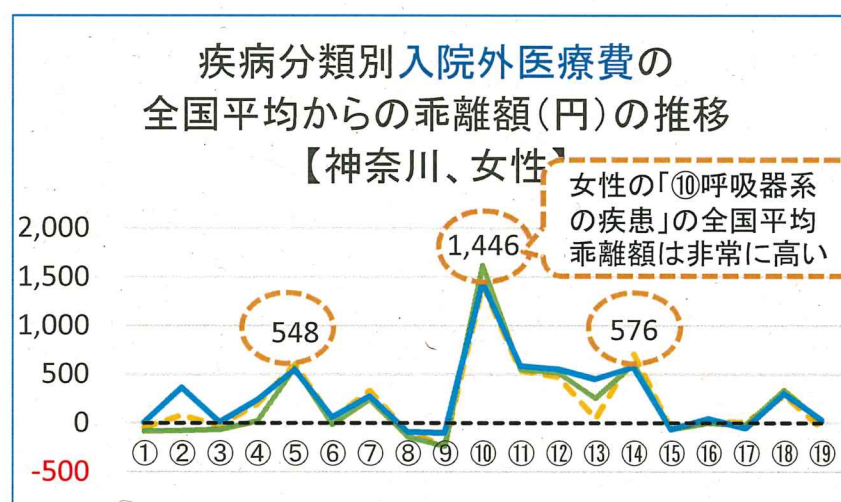
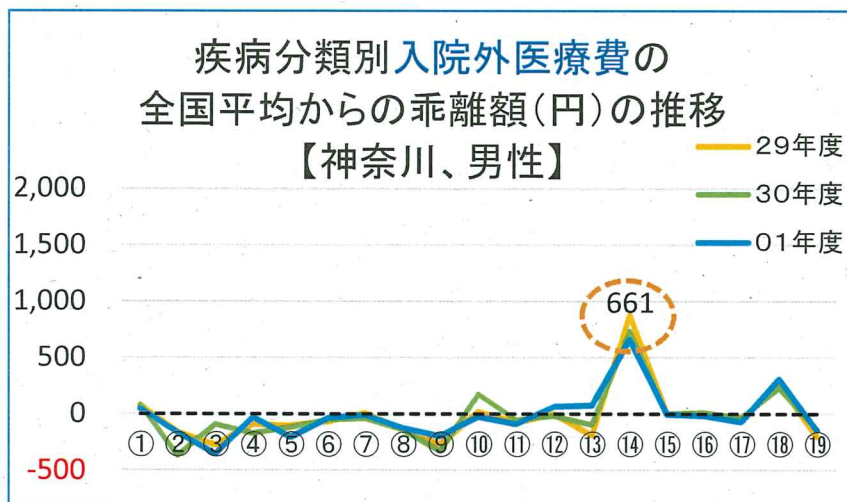
Ⅱ. (2) 神奈川支部の入院外医療費(その2～疾病分類別)

疾病分類別入院外医療費(男女別)(01年度)

神奈川支部の疾病分類別入院外医療費を性別に全国平均と比較すると、女性の「⑩呼吸器系疾患」、男性・女性の「⑭腎尿路生殖器系の疾患」の医療費が高い。

【男性】全国平均との比較では、「⑭腎尿路生殖器系の疾患」が+661円と高い。

【女性】全国平均との比較では、「⑩呼吸器系の疾患」が+1,446円と高いほか、「⑭腎尿路生殖器系の疾患」、「⑤精神及び行動の障害」も高い。



- ①感染症及び寄生虫症 ②新生物 ③血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害 ④内分泌、栄養及び代謝疾患 ⑤精神及び行動の障害
⑥神経系の疾患 ⑦眼及び付属器の疾患 ⑧耳及び乳様突起の疾患 ⑨循環器系の疾患 ⑩呼吸器系の疾患 ⑪消化器系の疾患
⑫皮膚及び皮下組織の疾患 ⑬筋骨格系及び結合組織の疾患 ⑭腎尿路生殖器系の疾患 ⑮妊娠、分娩及び産じょく ⑯周産期に発生した病態
⑰先天奇形、変形及び染色体異常 ⑱症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの ⑲損傷、中毒及びその他の外因の影響

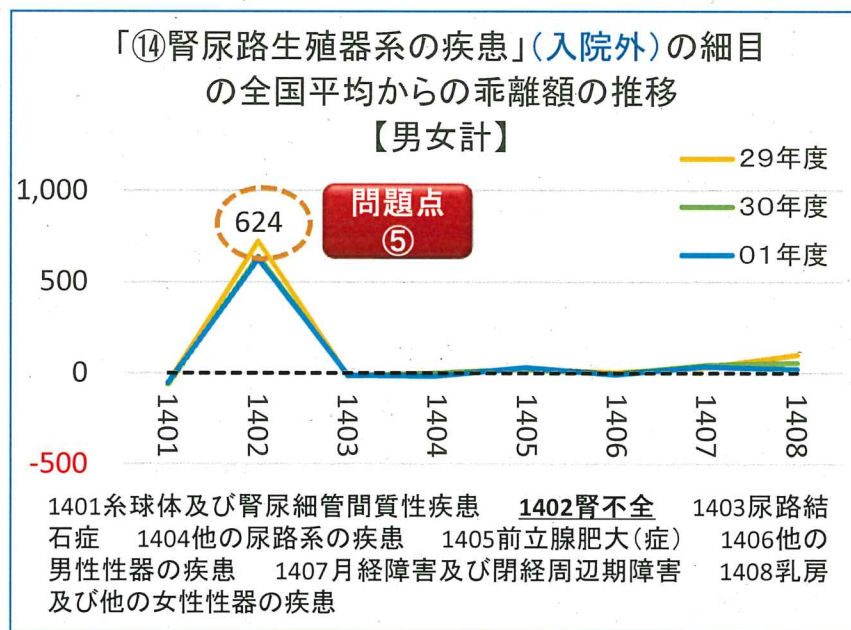
(出所)「医療費基本情報」のデータを加工

Ⅱ. (2) 神奈川支部の入院外医療費(その2～疾病分類別)

疾病分類別入院外医療費のブレイクダウン①

男女計の入院外医療費をブレイクダウンすると、「⑭腎尿路生殖器系の疾患」(男女計)では「腎不全」が全国平均と比較して高い。

【男女計】全国平均との比較では、「腎不全」が+624円と高い。



(出所)「医療費基本情報」のデータを加工

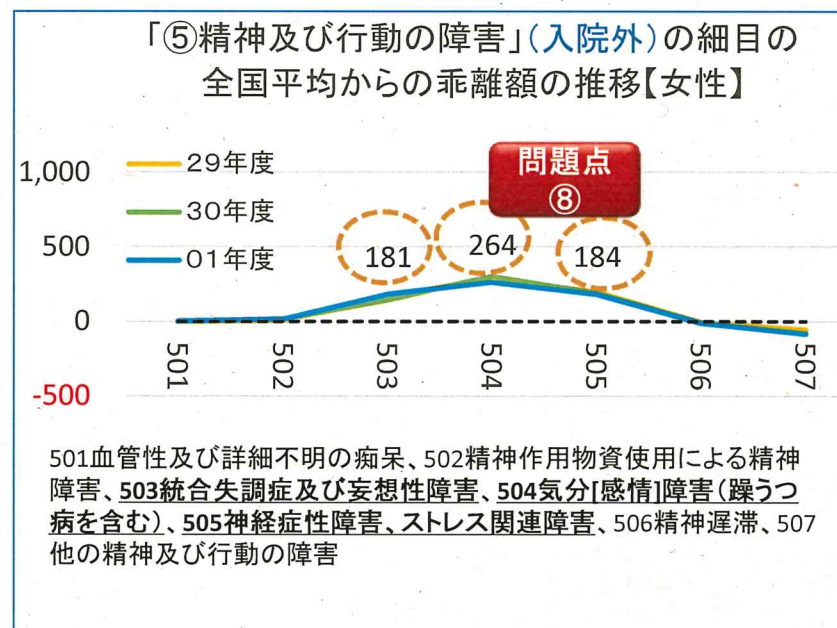
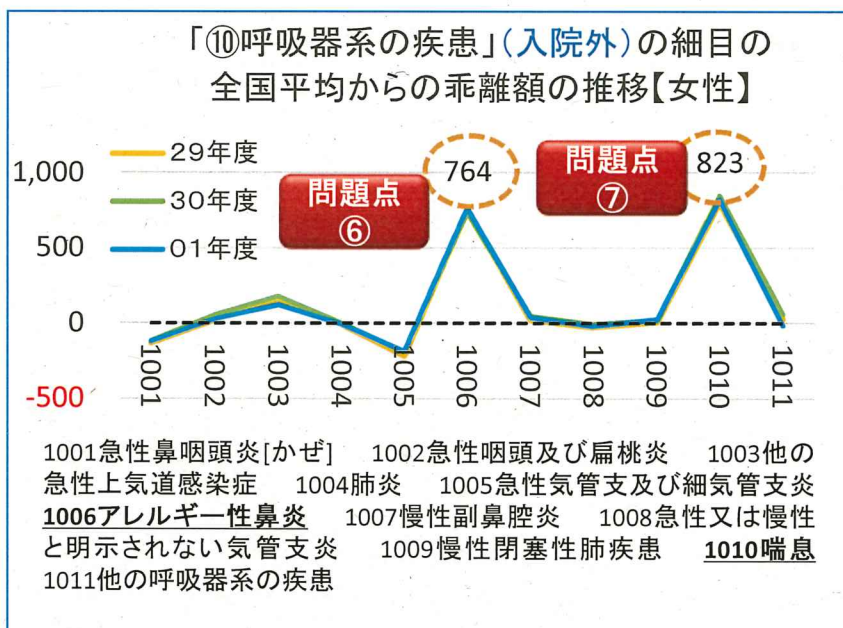
Ⅱ. (2) 神奈川支部の入院外医療費(その2～疾病分類別)

疾病分類別入院外医療費のブレイクダウン②

女性の入院外医療費をブレイクダウンすると、「アレルギー性鼻炎」・「喘息」、「気分[感情]障害」・「神経症性障害、ストレス関連障害」等が全国平均と比較して高い。

【女性】全国平均との比較では、「アレルギー性鼻炎」が+764円、「喘息」が+823円と高い。後者は「喫煙者の割合」の高さに起因している可能性あり。

【女性】全国平均との比較では、「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」が+264円、「神経症性障害、ストレス関連障害」が+184円高い。

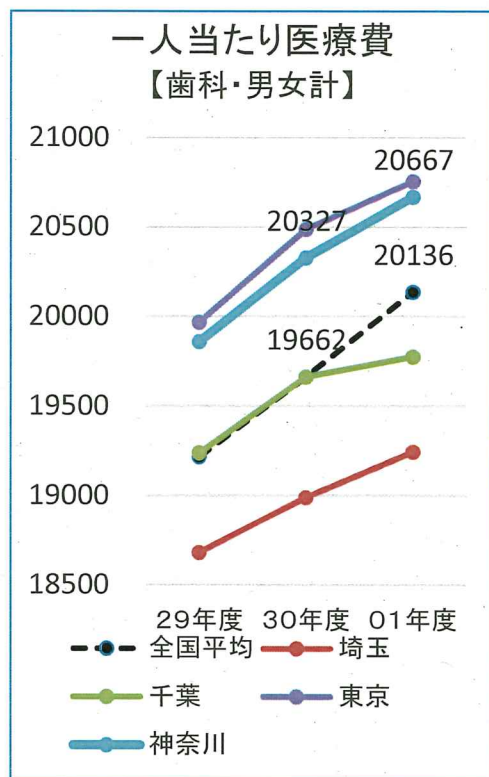


(出所)「医療費基本情報」のデータを加工

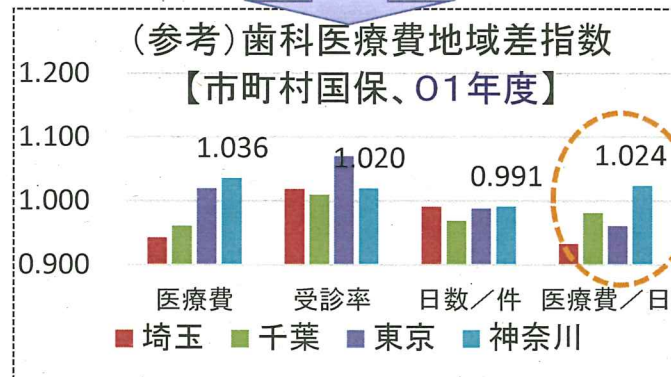
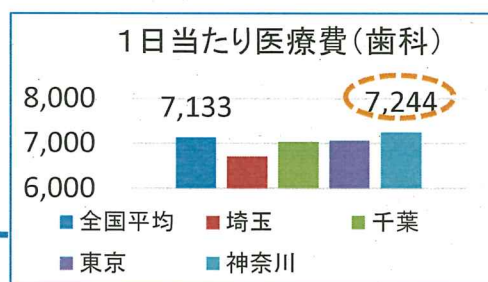
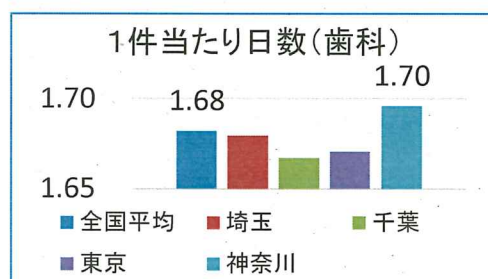
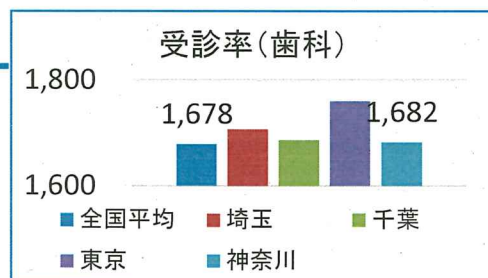
II. (3) 神奈川支部の歯科医療費

歯科医療費の3要素分解と地域差指数

歯科医療費を3要素分解すると、「1日当たり医療費」の地域差指数は、首都圏4支部の中では神奈川支部がもっとも高い(市町村国保も同様の傾向)。



(出所)「協会けんぽの都道府県支部別医療費等の状況(令和元年度)」

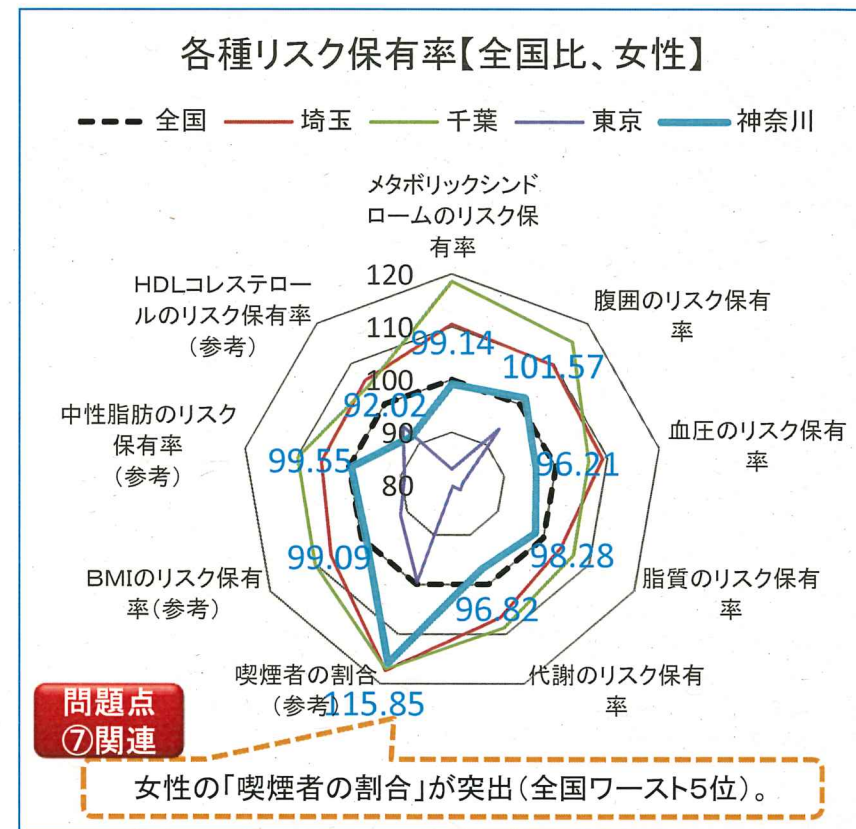
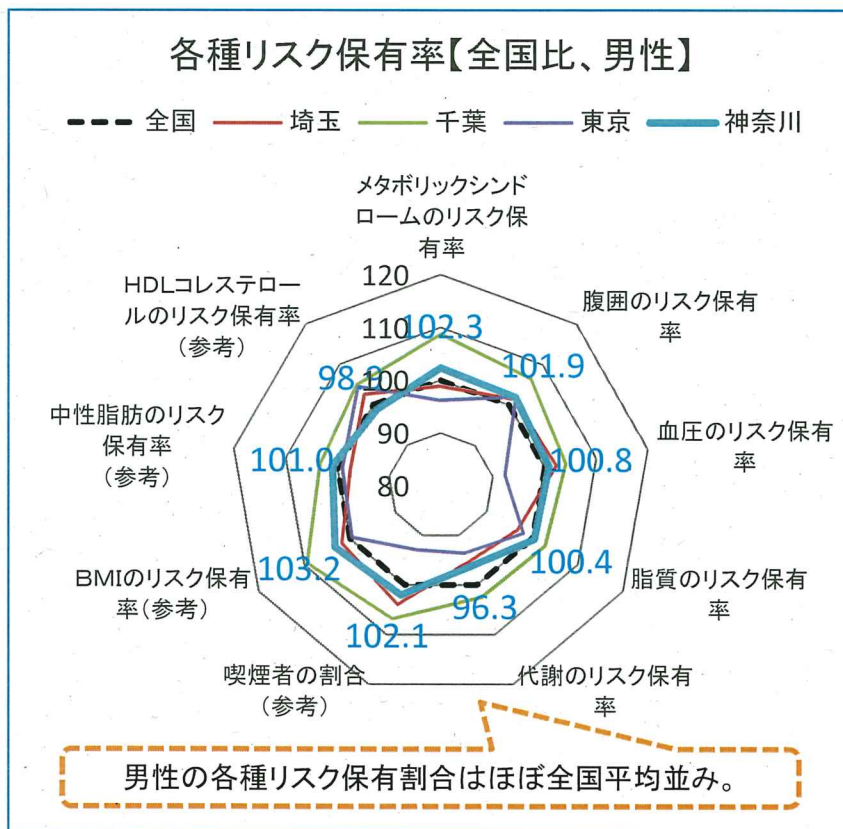


(出所)「医療費の地域差分析(令和元年度)」(厚生労働省保険局調査課)のデータを加工

Ⅲ. 神奈川支部加入者の健診結果の状況(その1～各種リスク保有率)

各種リスク保有率等レーダーチャート(01年度)

健診結果より、加入者の各種リスク保有率等を見ると、神奈川の女性の喫煙者割合はワースト5位。「喘息」の医療費適正化の観点からも禁煙の取り組み強化が課題。

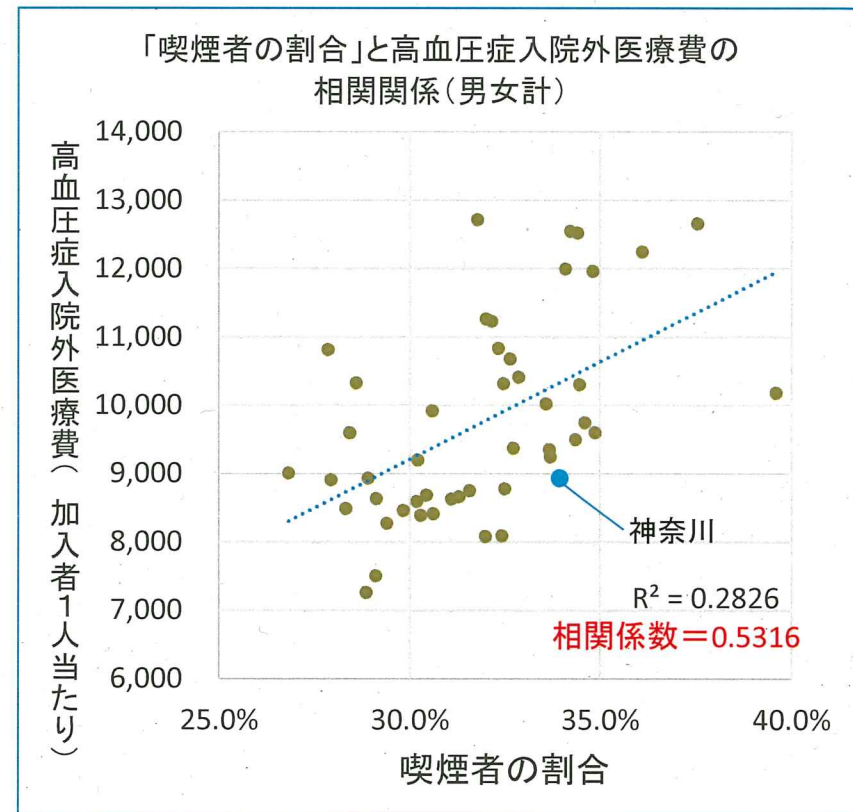
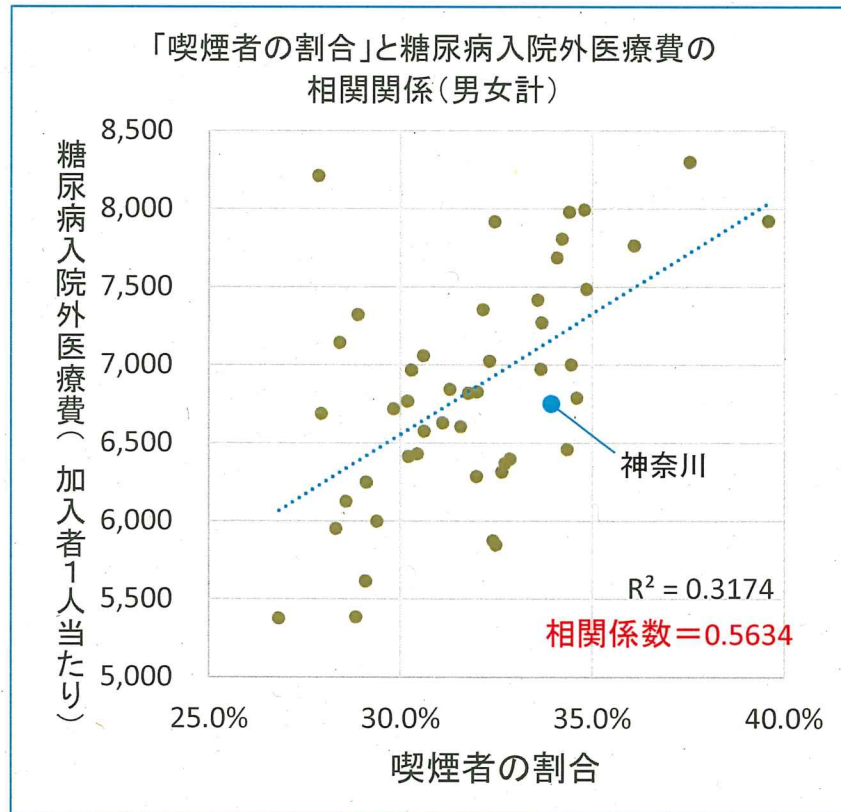


(出所)「協会けんぽの都道府県支部別医療費等の状況(令和元年度)」

Ⅲ. 神奈川支部加入者の健診結果の状況(その2～喫煙者の割合)

「喫煙者の割合」と医療費の相関関係(01年度)

「喫煙者の割合」と「糖尿病」・「高血圧」の加入者1人当たり医療費には中程度の相関関係がある。これら医療費の適正化の観点からも禁煙の取り組み強化が必要。



(出所)「協会けんぽの都道府県支部別医療費等の状況(令和元年度)」

分析結果を踏まえた取り組み

	男性	女性
入院	<p>①「循環器系の疾患」の1人当たり入院医療費が高い(特に男性)</p> <p>②「新生物」の1人当たり入院医療費の伸びが高い</p> <p>「データヘルス計画」の着実な推進 ※特に特定健診(被保険者・被扶養者)の向上を図る</p>	
入院外	<p>⑤「腎不全」の入院外医療費が高い(男女とも)</p> <p>・生活習慣病予防健診の推進 ・重症化予防対策(糖尿病予備群への受診勧奨) ・糖尿病性腎症患者への重症化予防プログラムの推進</p>	<p>③入院外医療費(調剤含む)が高い</p> <p>ジェネリック医薬品の使用促進</p> <p>④入院外の受診率が高い(20歳代以上の全ての年齢層)</p> <p>女性を対象とした健康づくりの強化</p> <p>⑥⑦⑧「呼吸器系の疾患」「精神及び行動の障害」の入院外医療費が高い</p> <p>・セルフメディケーションの推進(OTCメリットの広報強化) ⇒アレルギー性鼻炎など具体的にOTC対応可能な薬を周知 ・女性被保険者への「禁煙」勧奨強化 ⇒喘息の原因のひとつである禁煙を積極的に促進 ・メンタルヘルス対策のサポート強化 ⇒健康経営宣言事業所を中心にメンタルヘルス対策を拡充</p>

IV. 医療費適正化等に向けた取り組み

分析を踏まえた取り組み①

以上の分析を踏まえ、神奈川支部は、医療費適正化・インセンティブ獲得（ひいては都道府県単位保険料率の引き下げ）に向けて、以下の取り組みを進めていく。

問題点	取り組むべき課題	令和3年度の取り組み(計画)
①「循環器系の疾患」の1人当たり入院医療費が高い(とくに男性)	◆「循環器系の疾患」の1人当たり医療費の伸びの抑制に向けたデータヘルス計画推進	◇「データヘルス計画」の着実な推進 (注)「神奈川支部データヘルス計画」の上位目標＝「循環器系疾患の1人当たり医療費の伸び率を抑制し、令和4年度時点で26,222円以下にする」
②「新生物」の1人当たり入院医療費の伸びが高い(男性)	◆「新生物」(がん)の早期発見による医療費の抑制	◇特定健診受診率の向上 ・がんの早期発見につながる特定健診(生活習慣病予防健診、被扶養者向け特定健診)の受診率向上(詳細後記)

◇神奈川支部の「循環器系の疾患」の加入者1人当たり医療費(入院+入院外)は、23千円前後で推移している。

◇全国平均との乖離額(神奈川支部ー全国平均)は、29年度の322円から756円に拡大しており、「データヘルス計画」への取り組みの強化が必要。

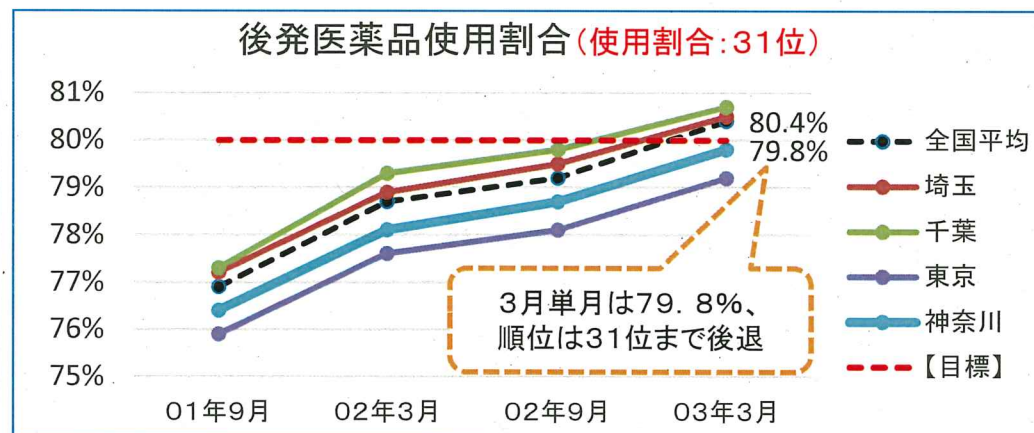


IV. 医療費適正化等に向けた取り組み

分析を踏まえた取り組み②

問題点	取り組むべき課題	令和3年度の取り組み(計画)
③入院外(調剤を含む)医療費が高い(女性)	◆ジェネリック医薬品の使用促進による入院外(調剤を含む)医療費の適正化	◇<課題分析> ・「ジェネリックカルテ」等による重点課題の明確化 ◇(個別の)医療機関・薬局へのアプローチの強化 ・「見える化ツール」等の活用による働きかけ強化 ◇加入者へのアプローチの強化 ・WEB等利用の広報の実施 ・軽減額通知サービスの継続実施 ・ジェネリック希望シールの配布

◇神奈川支部のジェネリック医薬品使用割合は、全国平均同様に伸び悩み。
 ◇令和2年9月(単月)の使用割合割合は78.7%であり、国から示された目標(80%)に届かず。
 ◇ジェネリック医薬品使用促進は、インセンティブ制度への対応のうえでも重要な課題(令和1年度の順位は30位)。

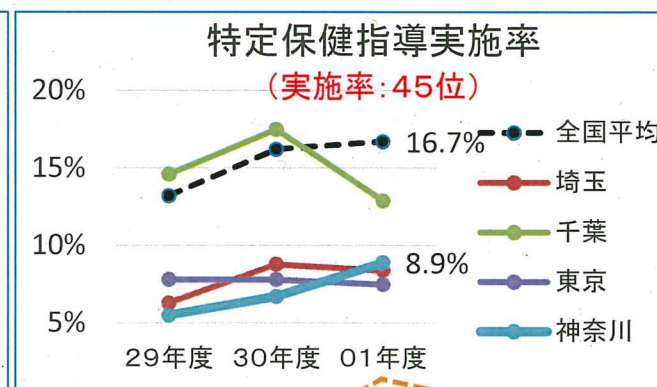
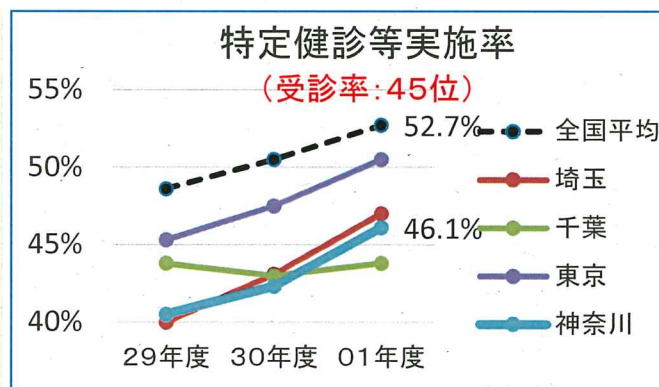


IV. 医療費適正化等に向けた取り組み

分析を踏まえた取り組み③

問題点	取り組むべき課題	令和3年度の取り組み(計画)
④ 女性の入院外の受診率が高い(20歳代以上のすべての年齢階級)	◆ 特定健診・特定保健指導の推進をはじめとした、女性を対象とした健康づくりの強化	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 生活習慣病予防健診の推進(35歳以上被保険者) <ul style="list-style-type: none"> ・ 健診機関過疎地の集団健診(検診車)の案内の強化 ・ 健診受診率が低い事業所へのアプローチの強化(大規模事業所、健康宣言事業所、健保委員事業所) ◇ 特定健診の推進(40歳以上被扶養者) <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己負担無料集団健診(会場健診)の案内(2サイクル) ・ GIS活用による、がん検診も受診可能な健診機関の案内 ◇ 特定保健指導の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICTの活用等も含めた積極的な保健指導の実施 ◇ 20歳代・30歳代の女性の健康づくり事業の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 若年層からのヘルスリテラシーの向上

◇ 神奈川支部の特定健診等・特定保健指導の実施率は低迷。
 ◇ 実施率向上は、インセンティブ制度への対応のうえでも重要な課題(順位はともに45位)。



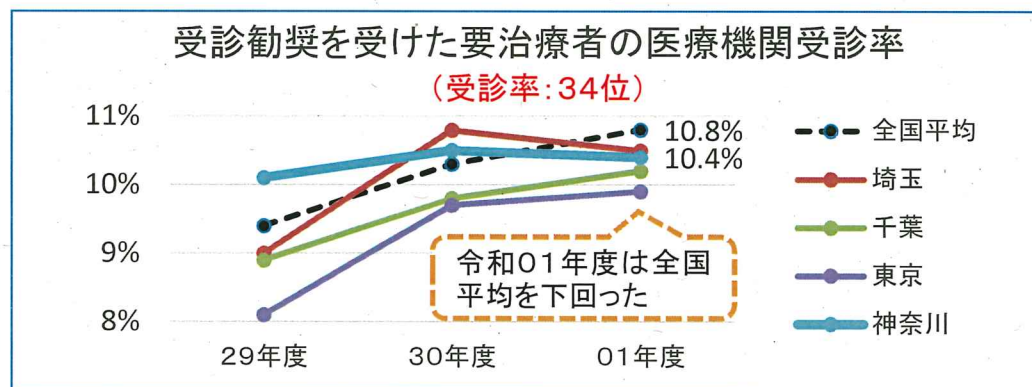
令和01年度、最下位を脱出

IV. 医療費適正化等に向けた取り組み

分析を踏まえた取り組み④

問題点	取り組むべき課題	令和3年度の取り組み(計画)
⑤「腎不全」の入院外医療費が高い(男女とも)	<ul style="list-style-type: none"> ◆腎不全の主な原因である糖尿病、高血圧(生活習慣病)の予防強化 ◆糖尿病予備軍への受診勧奨の強化 ◆糖尿病性腎症の重症化予防の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ◇生活習慣病予防健診の推進(前頁のとおり) ◇重症化予防対策(糖尿病予備軍への受診勧奨)の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・外部委託による受診勧奨の対象拡大 ◇糖尿病性腎症患者への重症化予防プログラムの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市・横須賀市以外の市町村への拡大

◇神奈川支部の「医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率」は横ばい～微減。
 ◇令和01年度の受診率は全国平均を下回り、順位は34位まで後退。
 ◇重症化予防の取り組み強化も、インセンティブ制度への対応のうえでも重要な課題。



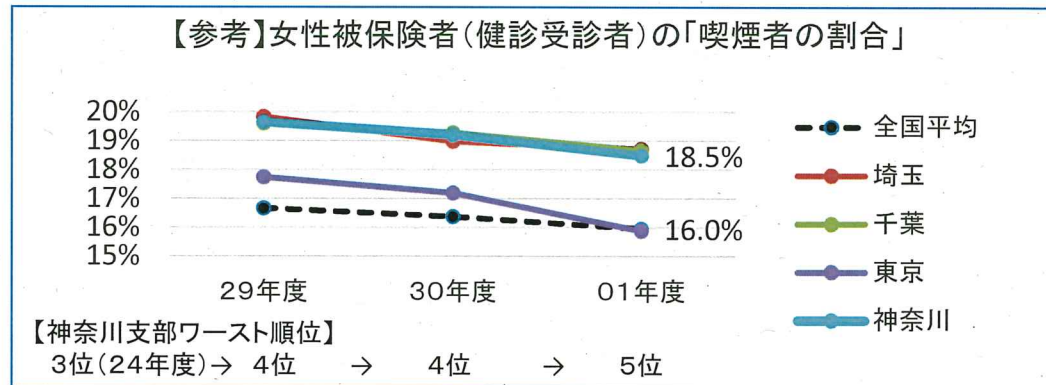
IV. 医療費適正化等に向けた取り組み

分析を踏まえた取り組み⑤

問題点	取り組むべき課題	令和3年度の取り組み(計画)
⑥「アレルギー性鼻炎」の入院外医療費が高い(女性)	◆セルフメディケーションの推進	◇セルフメディケーションの推進 ・令和4年税制改正にあわせたOTCのメリットの広報
⑦「喘息」の入院外医療費が高い(女性)	◆喘息の原因のひとつである「喫煙」への対応	◇女性被保険者への「禁煙」勧奨強化
⑧「精神及び行動の障害」の入院外医療費が高い(女性)	◆メンタルヘルス対策の強化	◇加入事業所におけるメンタルヘルス対策のサポート強化 ・「かながわ健康企業宣言」参加事業所を対象とした「メンタルヘルス対策」講座(無料講座)の拡充

◇神奈川支部の女性被保険者(健診受診者)の「喫煙者の割合」は低下傾向にある。

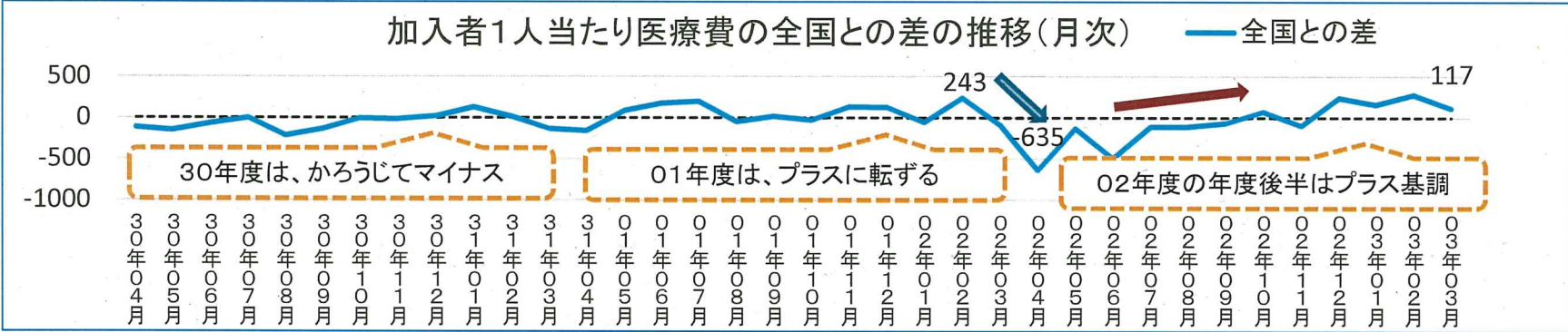
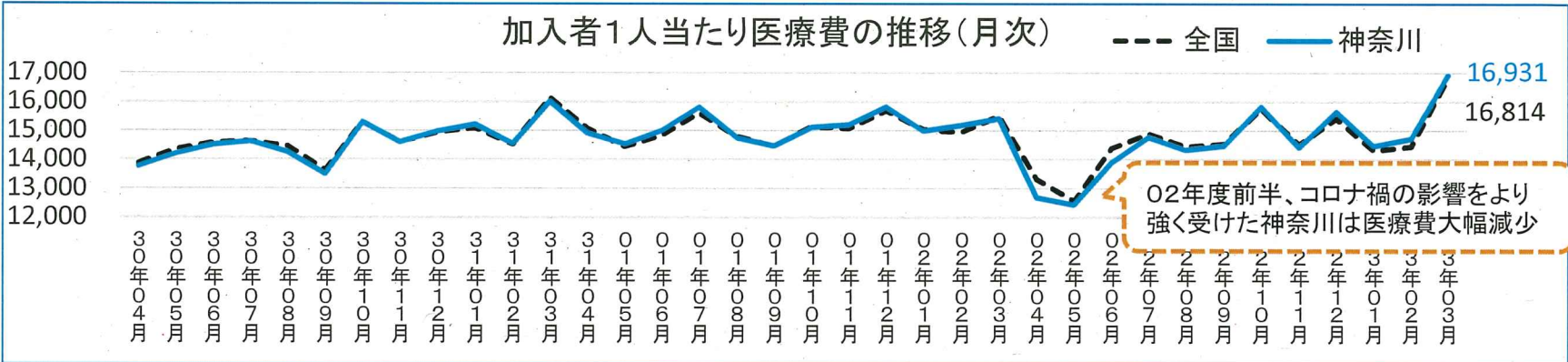
◇女性被保険者の「喫煙者の割合」の全国順位(ワースト順位)も徐々に下がっている。



◇◇◇(参考)医療費の最近の動き◇◇◇

【参考】医療費の最近の動き(月次の動き)

04年度の都道府県単位保険料率算出のベースとなる02年度の加入者1人当たり医療費は全国平均を下回る見込みだが、年度後半は全国平均比プラス基調。



半期計	▲691	+13	+273	+341	▲1,542	+790
-----	------	-----	------	------	--------	------

(出所)「協会けんぽ月報」

(注)「協会けんぽ」月報の数値。1～18頁までの数値とは一致しない